



昭和 62 年 7 月 20 日 第 五 五 五 号
第 一 一 一 号
第 一 一 一 号
第 一 一 一 号

国際化時代の幕開け

「東名高速道路の用賀インターの入口で、画用紙に行先を定めて大きなリュックサックを背中に親指を上にあげている外人さんを見かけた事がありますか、ヒッチハイカーです。」

国際都市東京へ変貌する時代の大きな流れが、わが街にも押し寄せて来ているのを感じます。

外国の大使館や神学校、インターナショナルスクールを始めとして、企業が進出も急ピッチです。特に環状八号線に連なる外車のディーラー群は、日本全国の若者たちの憧れの的でもあります。

マクドナルドもフライドチキンもサテータウンのアイスクリームもあり、屋ながらの世界旅行です。身近かな外国の味もさることながら、わがまちには遠い国の大使館もあります。エッ?この国? (池田)

中央アフリカ

共和国大使館

瀬田四ノ十一ノ十九
七〇七一五〇六一
瀬田から玉川へ下る古い大山道の近く瀬田幼稚園に隣接して、アフリカ大陸のほぼ中央の国、中央アフリカ共和国の駐日大使館があります。この国は約八十の異なった部族が居住すると言われ、一九六〇年フランスより独立、一九七九年に共和国となりました。

国境は南でコンゴとザイール、北でチャド、東はスーダン、西はカメルーンの国々と接しています。

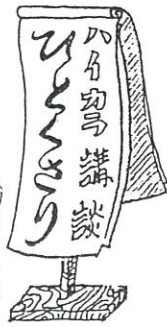
わがまち 国際色 豊かに



アフリカ連合 共和国大使館

上川賀四ノ三十一ノ九
四二五一四五三一
馬車公苑の近く、上川賀の町には遠くインド洋のかなた、アフリカ大陸東海岸の国、タンザニア連合共和国の大使館があります。

タンザニアは大陸側のタンガニカ湖が一九六一年イギリスの信託統治領から独立、一九六四年にインド洋上のザンジバル等と合併して誕生した国ですが、アフリカ大陸最高峰の山、キリマンジャロ(五八九五米)や、野生動物の宝庫セレン



地形は広大な台地で、最高峰は標高四二〇〇米のケウイ山です。気候は大陸性熱帯気候で、十一月から五月までの乾季、六月から十月までの雨季に分かれます。国民の八割強が農業に従事、コーヒー、タイヤモン、木材、毛皮等を外国に輸出していますが、新たにウラニウム産出国として期待されています。

国土は日本の一七倍、人口は約二百六十万人、公用語はフランス語、首都はバンギです。(大坪)

色々あって年々へて今じゃ各国大使館もいくつが出来ました外人学校もごいます

行き交う人も乗物も緑の板は変わらぬが
変わるコトバも国際化
中元連合売出しは
サマーモールとなりました
大山街道厚木道
二四六と名を変えて
クルマどまり教習所なぞ
交通信号機を付けて
わかりやすいでシカリと
振ったハンドル離らずに
戦後は遠くなりました
ご飯はパンに押されぎみ
売上げ減ったその上に
アメリカさんが買えと言う
オレンジ小麦粉お米まで
内需品大河とこと
おかげで我らも大変だ
変わらぬものごごいます
赤米を煮く若者の
やがて次代をかつぐ人
あの娘この思の心意気
夏の夜空にフッキリと
星がきれいにひかります

“ひろば”に希望の方は 玉川第五出張所においてありますので どうぞ。

國際化時代

私たちの近くにも 外国の施設や
外国スタイルのお店が沢山 出来てきました。

Internationalization



作図 鈴木(堅)・筆耕社 折原

郷土紹介

江戸時代も末期、幕永六年（一八五三）米國ペリー艦隊の浦賀来航により、徳川幕府は長い鎖国政策の転機を迎える。開国、攘夷の両論にゆれる中で、彦根藩世田谷領の藩主井伊大老は安政五年（一八五八）五ヶ国条約を締結、翌六年には長崎、函館と共に、横浜を開港することになる。

横浜はその後、文明開化の窓口となつて急速に人口も増え、特に外国貿易を志す商人が軒を並べて行く。当時活躍した商人として中居屋重兵衛、甲州屋忠右衛門、茂永惣兵衛等々の名がよくあげられるが、その中

に、武州荏原郡用賀村の鈴木六之助がいたとの資料がある。

鈴木六之助家は文化文政時代以後農閑渡世に醤油業を営み、文政十年（一八二七）には彦根藩に金百五拾両の他、醤油百樽を上納（幕末には藩に對し千五百兩を超える資金を融通）世田谷領有数の豪商であつた。代々六之助を襲名しているが、横濱貿易に係つた六之助は幼名岡太郎、当家の五代目当主と推察される。その資金力と商才により順調に店勢を拡大していたが明治六年八月、惜しくも四十九才で生涯を終える。

その所、嗣子十三才、貿易商六之助の横濱での足跡は歴史から消えている。

SPORT
ス
ホ
ッ
ト

第10回ふるさと区民まつり
みつけよう心のふるさとと
8月1日(土)・2日(日)馬事公
苑で開催されます。各団体の
便服店も沢山出され、子供
用の広場やコンサート等奈
しい夏休みが家族で楽しめ
ますよ。特に区内のお神輿
の総出演は圧巻です。
ゆかた と うちわ が
似合う季節です。
花火大会と灯篍流しが
7月24日(金)多摩川で開かれ
ます。尽玉も揚がります。
盆踊り大会
三子玉川駅前 瀬田小、用
賀真稲寺前で。
織田涼子供唄会、用賀小
自由ヶ丘生花市場、用賀地
区会館等で 開かれます。
(高橋啓)

●初めて、ひろは出さず、
作家気分で気負った、
「
（母の）鈴木調……。
わがミニコミ紙も早いもの
で1月号を数えます。
地域に根を張り、ふれ合
いの紙上にと充足してやう。
世田谷美術館、田賀プロ
ムナードも出来、ミニ玉川
には、国際交流ゾーンの建
設計画もあるときく。
世はまさに新幹線の如く
過ぎ行きます。そこで編集
子一同目を転じて、国際化
という視点で、わがまちを
見ようと、本号のテーマに
なりました。如何でしょう
か。市民レベルで国際交流
をしてみませんか！（柳田）

1. い夏休みを!!